

主の祈りを唱えましょう

主任司祭 吉池 好高

聖体拝領を前に、わたしたちは一層近く、主イエスの食卓に招きいれられます。「主の食卓に招かれた者は幸い」。この幸いを分かち合うために、聖体拝領の前に主の祈りを唱えましょう。

この祈りによって、わたしたちは神の子らとされた喜びの中で、ともに招かれている兄弟姉妹と一層深く、一層緊密に結ばれていきます。そのことを願って、主が教えてくださった主の祈りをともに祈りましょう。「わたしたちの罪をおゆるしてください。わたしたちも人をゆるします」。互いにゆるし合わなければならない、わだかまりの解消を願って、わたしたちのすべての咎をゆるしてくださる愛そのものである主のもとで頭をたれましょう。自分のありようがゆるされていることを悟り、感謝のうちに互いに許し合う恵みを願いたいと思います。莫大な借金を帳消しにしてもらいながら、仲間のわずかな借金を取り立てようとする愚かさを繰り返すことがありませんように。そのためにも、「わたしたちを悪より救いたまえ」という最後の願いに心を留めましょう。

神の子らとされている恵みを無視し、我先にと自分を優先する生き方から解き放たれて、恵みの食卓に招かれている喜びを全ての人と分かち合うために。そのためにわたしたちの主イエス・キリストは十字架上でそのいのちのすべてを与えつくされたのではなかったでしょうか。わたしたちが今日も拝領する主の御体は、十字架の上で、わたしたちのために与えつくされた神の子としてのいのちだったのではないのでしょうか。そのいのちに今日も満たされ、わたしたちのうちに神のいのちの息吹が通い合うために、主の食卓に近づきましょう。

わたしたちが唱える主の祈りに応えて、主イエス・キリストはその御体を、聖体のパンとして分かち与えてくださるのです。同じ一つのパンに養われる家族の絆に結ばれて、わたしたちは何によって生きているかを、この荒れ野の旅の中で確認し、そのことを周囲の人々にも証しするために、主の食卓から派遣されて行きます。この世界が、神の御心が行われる神の国となることを願って、「主よ、来てください。マラナタ」と願い合いましょう。